

【最優秀賞】

「ぼくの町の田宿川」

静岡県富士市立今泉小学校

四年 杉山 士雄

ぼくがすむ今泉には、田宿川という、とてもきれいな川が流れています。しかも、うれしいことにその川は、ぼくの家のおすぐそばを流れています。

ゆらゆらと気持ちよさそうにゆれる水草。楽しそうにおいかけっこしているアユのち魚。のんびりお散歩しているカモの親子。まるで「気持ちいいよ。こっちにおいでよ。」

と言っているようです。ぼくはこの、のどかな風景を橋の上からながめるのが好きです。

ぼくはまだ今泉に引っ越ししてきて三年目なので、あまりこの川の歴史を知りません。でも授業で田宿川について勉強したり、人の話をきいたりして、この美しい川がかつては魚もすめないほど汚れてしまったことがあることを知りました。工業やせい紙業が盛んになった時、じまんの美しい水が大量にくみ上げられそのかわりにたくさんのお水が流されたそうです。ぼくは写真で見たその川の色を忘れることができません。それは、みどり色の絵の具にたくさん白をまぜたような、ものすごく人工的な色で、まるでクリームソーダが流れているみたいで、とても不気味な川でした。しかももつとびっくりしたことは、それが人間の手によって工場から流された薬品のせいだと分かったことでした。（どうして川にはたくさんのお生きものが住んでいるのにひどいなあ。）と思いました。

間もなく、川ばかりではなく、空気や海の公害問題も大きくなりかんきょうを見直す運動が広まったのです。ぼくが住む今泉の人たちも工場で働く人たちと協力し合い田宿川をきれいにする取り組みに力を入れたそうです。初めのうちは、手作業でヘドロをすくい上げたとききました。それから下水道や浄化施設の充実に力を入れたり水草をふやしていつか長い長い年月をかけて、やっと今の美しい田宿川をとりもどしたのだと知りました。

ぼくは、汚してしまったとき人間てひどいことをするなと思ったけれど、きれいにするために立ち上がってくれた人もいたんだなあと思って、やっぱり人間はすごいなと思いました。

現ざい、ぼくが住む町では、年に六回、田宿川の清掃活動をしています。ぼくのお父さんやお母さん、そして中学生のお兄ちゃんも、参加できるときは、協力しています。こうして地域の人たちに守られて今の田宿川があるのだと知った時、ぼくはこの清掃活動をずっと続けて川を大事にしていきたいと思いました。

四年生の今年の夏、ぼくは田宿川の「たらい流し」でこの川を一人で渡りました。とてもきれいな川でした。絶対に汚さないぞと思いました。ぼくたちのお子にも同じ思いを味あわせてあげたいなと思います。